

新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
 モーツァルト

コジ・ファン・トゥツテ

Così fan tutte

2020年3月18日(水)~3月24日(火)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



2013年公演より

モーツァルト天上の音楽が紡ぐ恋の駆け引きの物語が、一夜の恋愛ゲーム「キャンピング・コジ」に！

モーツァルトが極上の音楽で男女の恋の駆け引きを描いたオペラ『コジ・ファン・トゥツテ(女はみんなこうしたもの)』。女心を試そうと賭けをする男女の感情の機微、そして人間の本質をコミカルに、時にアイロニカルに描いた、大人のための恋愛劇です。

世界中のオペラハウスで引っ張りだこの売れっ子演出家ミキエレットの『コジ・ファン・トゥツテ』は、現代のキャンプ場が舞台の「キャンピング・コジ」。巨木が立ち並び苔の薫りまで漂うような深い森が出現する、徹底的にリアルな舞台美術も大きな見どころです。いま、日本では空前のキャンプブーム。キャンプ場あるある！な仕掛け満載、一夜の恋愛ゲームの物語になった「キャンピング・コジ」を今こそお楽しみください！

ブラット、ゴリャチョーワらオペラ界最注目歌手が揃う、極上のアンサンブル。

『コジ・ファン・トゥツテ』では6人のキャストが全員重要な役。二重唱、三重唱、四重唱…と次々に繰り出される重唱は、モーツァルトの極致といえる美しさで、究極のアンサンブル・オペラとされています。

姉妹役には、正統派ソプラノとしてミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場など世界の主要劇場で大活躍するブラット、ヨーロッパの歌劇場を重要な役で席卷するゴリャチョーワとオペラ界最注目歌手が登場。恋人役には大躍進中のテノールのサラ、バロックやモーツァルトを得意とするドルチーニと、イタリアからの俊英2人、小間使いデスピーナには日本の誇るソプラノ高橋薫子。哲学者ドン・アルフォンソはイタリアの実力派アルベルギーニが務めます。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

大人のための恋愛喜劇！ モーツァルト天上の音楽が描く恋の駆け引き。

モーツァルトが、男女の愛の真実を極上の音楽で描いたオペラ『コジ・ファン・トゥッテ(女はみんなこうしたもの)』、『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』と並ぶ、モーツァルトのオペラ代表作のひとつです。

二人の青年が恋人の愛情を試す賭けに挑戦、ついに女たちが誘惑に陥落するというストーリーが、女声二重唱、男声二重唱、男女の二重唱に三重唱、四重唱…と数々の重唱で綴られるアンサンブル・オペラで、今ではモーツァルト最高の恋愛喜劇として人気を博しています。男女の感情の機微、人間の本質をコミカルに、そして時にアイロニカルに描いた、大人のための恋愛劇です。

ブラット、ゴリャチョーワらオペラ界最注目歌手が揃う、極上のアンサンブル。

『コジ・ファン・トゥッテ』では2組のカップルとこの恋愛ゲームの仕掛け人の老哲学者、恋愛指南役も務める小間使いと、6人の歌手皆が重要な役。いわば全員主役のアンサンブル・オペラです。

姉妹役には、『ラ・ボエーム』ミミ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『シモン・ボッカネグラ』アメリアなどの役でミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場など世界の著名劇場で大活躍するブラットに、ヨーロッパの歌劇場や音楽祭を重要な役で席卷するゴリャチョーワと、オペラ界最注目歌手2人が揃って登場。対する恋人の若者二人にはモーツァルトのテノール諸役で大躍進するサラ、バロックの重要公演が続くドルチーニとイタリアから俊英2人が来日。小間使いデスピーナには高橋薫子。哲学者ドン・アルフォンソはイタリアの実力派アルベルギーニが務めます。指揮にはイタリアの名匠オルミが当たります。

キャンプの一夜の危険な恋愛ゲーム、ミキエレットの「キャンピング・コジ」。

イタリアの演出家ダミアノ・ミキエレットは世界中のオペラハウスで大胆な演出を発表して話題を巻き起こし続け、今や世界のオペラ界でもすっかり中心的な存在の売れっ子演出家。その演出は、設定の読み替えて観客の度肝を抜きながらも、登場人物の心理に寄り添った丁寧な読み込みで、作品の本質を捉えるものと高く評価されています。注目を浴び始めた30代で演出したこの『コジ』(2011年初演)では、モーツァルトが指定した18世紀のナポリの海辺でなく、現代のキャンプ場を舞台に設定。斬新な演出ながら、テキストに忠実な射た展開でモーツァルトの傑作に新たな息吹を吹き込み、開幕するや「キャンピング・コジ」の愛称で大いに話題になりました。

幕が上がるとそこは針葉樹の巨木が立ち並び、苔の薫りまで漂うような深い森。この森は木漏れ日から夕暮れ、闇へと刻々と情景が変化し、思わず感嘆の声が上がるほどの美しく深遠な世界です。ストーリーが始まるや、キャンプグッズからクルマまで、遊び心いっぱいの小道具やカラフルなファッションが、効果的に転換する回転舞台に次々登場するのも注目ポイント。超リアルだけでなく、時々仕込まれた舞台ならではのユニークな趣向も楽しさいっぱいです。若者たちの喧騒に男女の見定め合い、テントの張り場を巡る小競り合いに、水遊びに興じながらの恋愛談義、そして深い闇の中の焚火…キャンプあるある！の楽しい仕掛けが満載、キャンプ場の一夜の危険な恋愛ゲームの物語は、現代人に大いにリアリティを持って伝わります。

さらに観客を唸らせるのが、ミキエレットが提示した『コジ』の結末。老哲学者の思惑通り女が心変わりし、現場を押さえられた末に唐突に「目が覚めた」と元の鞆に収まって大団円…という原作を引っ繰り返す結末の演出に、快哉を叫んだ観客多数！現代人の共感を呼んでやまないミキエレットの「キャンピング・コジ」は、是非とも劇場で、極上の音楽とドラマ展開をとことん楽しんでいただきたいエンターテインメントです。



今、日本は空前のキャンプブーム！ 今こそ「キャンピング・コジ」をとことん楽しめる時代が到来しました！

消費が冷え込み、景況感の停滞・後退が報じ続けられている中、空前のブームの渦中にあるのがキャンプ。日本オートキャンプ協会「オートキャンプ白書 2019」によれば、2018年のオートキャンプ参加人口は前年比1.2%増の850万人(推計)となり、6年連続で前年を上回ったとのこと。キャンプ漫画「ゆるキャン△」や芸能人のソロキャンプのTV番組をきっかけに、SNSのネタにもうってつけと人気に火が付き、休日の各地のキャンプ場はグループやファミリー、そしてソロキャンプで大賑わいです。アウトドア市場が活況にあるだけでなく、キャンプ初心者でもキャンプ風の宿泊をゴージャスに楽しめる「グランピング」や、都心のバーベキュー場など、キャンプ関連の新業態も続々と出現。今やどの世代でも、キャンプというレジャーを完全に避けることは難しいほどの活況ぶりです。一種の非日常である自然の中に飛び込んでちょっとハマを外そうと、今、多くの人がキャンプにはまっています！

なぜ現代人はキャンプに惹かれるのか？ キャンプに挑戦する機会のない人も、この「キャンピング・コジ」でキャンプの一夜を疑似体験すれば、キャンプの何が心を捉えるのかわかるかもしれません。

ミキエレット演出の『コジ・ファン・トゥッテ』の初演は2011年5月、震災後の新国立劇場オペラの初の新制作作品でした。あの時には「何が面白いのかよくわからなかった」という方も、キャンプがすっかり身近なレジャーとなった今なら、ミキエレット演出の面白さが倍増して伝わること間違いなし。今こそ「キャンピング・コジ」を楽しめる時代が到来しました！



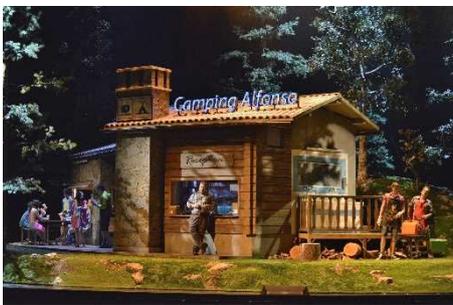
森の中のキャンプ場(イメージ)

<「コジ・ファン・トゥッテ」 オリジナルのあらすじ>

【第1幕】青年士官のグリエルモとフェルランドは、美しい姉妹フィオルディリージとドラベツラとそれぞれ婚約している。二人は老哲学者のドン・アルフォンソにそそのかされて、女の愛が永続的に信頼しうるかどうかが議論する。アルフォンソは永続する愛など虚像にすぎないと二人を諭すが、若者たちは恋人の貞節を信頼する方に賭けることになった。まず、フェルランドとグリエルモは出征するふりをして偽りの別れを演じる。その後、二人は変装して現れ、姉妹を熱烈に口説く。最初は断固拒否する姉妹。男たちは毒をあおるふりをして偽医者として登場したデスピーナの解毒で蘇生、さらに熱烈に姉妹を口説く。

【第2幕】小間使いのデスピーナによる恋の指南も手伝ってか、あの手この手のプロポーズ攻撃に姉妹の心は徐々に揺らぐ。まず、ドラベツラが姉の婚約者グリエルモに陥落し、ついにフィオルディリージも激しい葛藤の末フェルランドの手に落ちる。「女はみんなこうしたもの」とほくそえむアルフォンソ。新しい二組のカップルの結婚式が行われるところに突如軍隊の帰還が告げられる。男二人はもとの姿に戻って姉妹の前に現れ、恋人の不貞を詰問。姉妹は許しを乞い、ドン・アルフォンソの種明かしで四人はもとの鞆に収まり、皆で理性を讃える。

ミキエレット版「キャンピング・コジ」はこうなる！



舞台は認知顔の男アルフォンソが経営するキャンプ場。従業員女子のデスピーナはアルフォンソと、どうもてきてるらしい…



男たちは彼女の心を試す賭けに乗り、旅立ちを演じて…



パンクな野郎に変装して戻ってきた!!

女たちの泊まるトレーラー前にテントを張って、別の彼女にやりたい放題の猛アプローチ！



気を引こうと死んだふりまで👊



夜。ちょっといいムードに女心は揺れる…

ついに別の男の口説きに落ちた…！それも二人とも！



熱が冷めないうちに、アルフォンソは新カップルの結婚式まで挙げさせる。そこに…

帰ってきた彼氏登場！まさに修羅場！！



これで元サヤに戻るって…あり!? なし!?

<キャスト・スタッフプロフィール>**【指揮】パオロ・オルミ****Paolo OLMI**

ローマでマッシモ・ブラデッラとフランコ・フェラーラのもとで指揮を学ぶ。1986年にボローニャ歌劇場でオペラ指揮者としてデビュー。その後、ミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、英国ロイヤルオペラ、ザクセン州立歌劇場、プエノスアイレスのコロン劇場など世界各地で活躍。90年から93年RAI交響楽団音楽監督、06年から11年までナンシー歌劇場と同交響楽団の音楽監督。サンタ・チェチーリア管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、BBC交響楽団、RAI交響楽団などオーケストラとの活動も多い。近年では、ベルリン・ドイツ・オペラで『ファルスタッフ』『エルサレム』『アドリアーナ・ルクヴール』、ボルドー歌劇場『愛の妙薬』『仮面舞踏会』『セビリアの理髪師』、サヴォンリナ・オペラ・フェスティバル『アイダ』『ルチア』などを指揮。最近のオペラでは、ボルドー歌劇場『セミラミデ』、トゥーロン歌劇場『椿姫』、マシー歌劇場『アイダ』、オマーンでのローマ歌劇場『道化師』、香港オペラ『トゥーランドット』『リゴレット』などを指揮している。新国立劇場には、1999年『仮面舞踏会』、2001年『ナブッコ』、02年『ルチア』、10年『愛の妙薬』を指揮して以来の登場。

**【演出】ダミアノ・ミキエレット****Damiano MICHIELETTO**

ヴェネツィア生まれ。ミラノのパオロ・グラッシ演劇学校で演出を学び、ヴェネツィアのカ・フォスカリ大学で現代文学を学ぶ。2003年ウェックスフォード・フェスティバル『バグパイブ吹きシュワンダ』の演出で、絶賛を浴びる。その他、初期の演出に、ミラノでストラヴィンスキーの『兵士の物語』のほか、『夏の夜の夢』『動物の謝肉祭』『ノアの洪水』などがある。07年ロッシニ・オペラ・フェスティバル『泥棒かささぎ』で、かささぎを少女に置き換え少女の夢物語とした大胆な演出が大評判となり、08年イタリアで権威あるフランコ・アッピアーティ賞を受賞。一躍世界の注目を集める人気演出家となる。これまでにフィレンツェ五月音楽祭、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ歌劇場、チューリヒ歌劇場、ナポリのサン・カルロ劇場、ボローニャ歌劇場などで、『セビリアの理髪師』『ドン・ジョヴァンニ』『海賊』『絹のはしご』『ファルスタッフ』『アルジェのイタリア女』『ランメルモールのルチア』『後宮からの誘拐』『ジジスモンド』などを演出している。新国立劇場には『コジ・ファン・トゥッテ』で初登場となった。

**【フィオルディージ】エレオノーラ・ブラット****Eleonora BURATTO**

イタリア・マントヴァ生まれ。2009年、ザルツブルク音楽祭に『デモフォンテ』クレウザでデビューし、11年、マドリッド・テアトロ・レアル、ザルツブルク音楽祭などでムーティ指揮『二人のフィガロ』スザンナに出演。12年にはローマ歌劇場『シモン・ボッカネグラ』アメリア、13年にテアトロ・レアル、ローマ歌劇場『ドン・パスクワレ』ノリーナに出演した。これまでにローマ歌劇場、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、テアトロ・レアル、チューリヒ歌劇場、ザルツブルク音楽祭、ラヴェンナ音楽祭などで、『トゥーランドット』リユー、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ファルスタッフ』ナンネッタとアリーチェ、『愛の妙薬』アディーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナなどに出演している。最近では、ミラノ・スカラ座デビューとなった『愛の妙薬』、メトロポリタン歌劇場『ドン・パスクワレ』、バルセロナ・リセウ大劇場、サン・カルロ歌劇場『ラ・ボエーム』ミミ、スカラ座『フィガロの結婚』伯爵夫人、リヨン歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、テアトロ・レアル、ヴェローナ野外音楽祭、英国ロイヤルオペラ『カルメン』ミカエラ、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』エレットラ、ウィーン国立歌劇場『シモン・ボッカネグラ』アメリア、バルセロナ・リセウ大劇場『ルイザ・ミラー』タイトルロールなどに出演。今シーズンはメトロポリタン歌劇場『トゥーランドット』リユーに出演したほか、ベルリン州立歌劇場、英国ロイヤルオペラで『ラ・ボエーム』ミミ、オランダ国立オペラ『ルサルカ』タイトルロールに出演予定。新国立劇場初登場。

**【ドラベツラ】アンナ・ゴリャチョーフ****Anna GORYACHOVA**

ロシア出身。サンクトペテルブルクの音楽院で学び、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院でレナータ・スコットのもと研鑽を積む。2012年から17年までチューリヒ歌劇場専属歌手として、『絹のはしご』ルチツラ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』マダレーネ、『スペードの女王』ポリーナ、『セビリアの理髪師』ロジーナなど多くの役に出演した。これまでに、オランダ国立オペラ、パリ・オペラ座、フィレンツェ歌劇場、ボローニャ歌劇場、ノルウェー国立オペラ、デンマーク王立歌劇場、ローマ歌劇場、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、マドリッド・テアトロ・レアル、英国ロイヤルオペラ、ヴェローナ音楽祭などで『スペードの女王』ポリーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラ、『ランスへの旅』メリベア侯爵夫人、『ノルマ』アダルジーザ、『カルメン』タイトルロールなどに出演。最近では、チューリヒ歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラ、『ノルマ』アダルジーザ、英国ロイヤルオペラ『スペードの女王』ポリーナ、ブレゲンツ音楽祭『ドン・キショツ』ドゥルシネ、ポリショイ劇場『ランスへの旅』メリベア侯爵夫人に出演。今後の予定に、ローマ歌劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』ロメオ、ジュネーヴ大劇場『チェネレントラ』タイトルロールなどがあ。新国立劇場初登場。



【デスピーーナ】高橋薫子**TAKAHASHI Nobuko**

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。第23回ジロー・オペラ新人賞など受賞多数。91～93年五島記念文化財団の奨学生としてミラノに留学。90年、藤原歌劇団『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナで本格的オペラ・デビュー。以来『ルチア』タイトルロール、『愛の妙薬』アディーナ、『ロメオとジュリエット』ジュリエット、『リゴレット』ジルダ、『ランスへの旅』コリンナ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『タンクレーディ』アメナイーデ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『夢遊病の女』アミーナ、『仮面舞踏会』オスカルなど、次々と好評を博す。『魔弾の射手』エンヒェン、『トウランドット』リュエなどにも出演。新国立劇場では『魔笛』パパゲーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『沈黙』オハル、『鹿鳴館』頭子、鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナなどに出演。国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師。藤原歌劇団団員。

**【フェルランド】ジョヴァンニ・サラ****Giovanni SALA**

イタリア・レッコ出身のテノール。コモのヴェルディ音楽院で音楽を学び、AsLiCoコンクールに優勝して、2014年コモ劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『愛の妙薬』ネモリーノに出演してデビュー。14/15シーズンにはフェッラーラ歌劇場とラヴェンナ音楽祭にムーティ指揮のもと『ファルスタッフ』フェントンでデビュー。ミラノ・スカラ座のアカデミーで入賞し、『魔笛』タミーノに出演。ミラノのカテドラルで、後にミラノのEXPO2015でロッシーニの『エジプトのモーゼ』アウフィーデに出演。ラヴェンナ音楽祭およびサヴォンリナ音楽祭で『マクベス』マルコム、スカラ座、ジェノヴァ歌劇場、トリエステ・ヴェルディ劇場で『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、ラヴェンナ音楽祭『道化師』ペッペなどに出演。最近では、ナポリ・サン・カルロ劇場の『ドン・ケッコ』、マチェラータ音楽祭『魔笛』タミーノ、パルマ王立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』アルバーチェ、ヴェローナ歌劇場『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョ、マチェラータ音楽祭『マクベス』マクダフに出演するなど、イタリアの主要歌劇場で躍進中。今後の予定に、パレルモ・マッシモ劇場『ファルスタッフ』フェントン、マチェラータ音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、サン・カルロ歌劇場『メリー・ウィドウ』カミーユ、ポローニャ歌劇場『オテロ』カッショなどがある。新国立劇場初登場。

**【グリエルモ】レナート・ドルチーニ****Renato DOLCINI**

ミラノ生まれ。2015年にウィリアム・クリスティの"声の庭"第7期に選抜され、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、オーストラリア、アジアツアーに参加。これまでにヴェネツィア・フェニーチェ歌劇場制作のカルダーラ作曲『ダフネ』、ジョン・エリオット・ガーディナー指揮オール・モンテヴェルディ・プログラム、ロワイモヨ修道院での『フィガロの結婚』フィガロ、ミラノとフィレンツェで『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ、ヴェルサイユ歌劇場、ポルドー歌劇場でロッシ作曲『オルフェオ』サティーロ、ナント歌劇場『ポッペアの戴冠』オットーネ、クリスティ指揮レザール・フロリサン『デイドとエネアス』のアメリカツアーに出演するなど、特にパロック作品やモーツァルトで活躍。最近では、ザルツブルク音楽祭のクリスティ指揮『ポッペアの戴冠』セネカ、フランス・ペリグーで『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、レザール・フロリサンの『ヨハネ受難曲』パリ公演及びヨーロッパツアー、イスラエル・オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、ミラノ・スカラ座『ジュリオ・チェザレ』ニレーノ、ジュネーヴ大劇場『優雅なインドの人々』ペローヌ/オスマン/アダリオなどに出演した。新国立劇場初登場。

**【ドン・アルフォンソ】シモーネ・アルベルギーニ****Simone ALBERGHINI**

ポローニャ生まれのバス・バリトン。1993年トリノ王立歌劇場でデビュー後、イタリア内外の歌劇場に出演。ロッシーニ・オペラ・フェスティバルには『オテロ』『タンクレーディ』『泥棒かささぎ』『ギョーム・テル』など数多く出演。2005年にグラインドボーン音楽祭『チェネレントラ』ダンディーニ、08年にはア・コルーニャで『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、ローマ歌劇場、マチェラータ音楽祭『カルメン』エスカミーリョ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『アルジェのイタリア人』ムスタファ、ワシントン・オペラ『ホフマン物語』悪役四役などに、10年にはウィーン国立歌劇場『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、フェニーチェ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、トリノ王立歌劇場『蝶々夫人』シャープレスに出演した。これまでにポローニャ歌劇場、バルセロナ・リセウ大劇場、トリノ王立歌劇場、チューリヒ歌劇場などで『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『ラ・ボエーム』マルチェット、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『カルメン』エスカミーリョなどに出演している。最近ではパレルモ・マッシモ劇場、サン・カルロ歌劇場、トリノ王立歌劇場、コロラド・オペラでアルマヴィーヴァ伯爵、ポローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『カルメン』エスカミーリョ、リヨン歌劇場、エディンバラ音楽祭『チェネレントラ』アリドーロ、ポローニャ歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、イージー、ファーノほか各地で『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、サヴォーナ・ジョコーザ歌劇場『ドン・パスクワレ』マラテスタなどに出演。20年5月にはジュネーヴ大劇場『チェネレントラ』アリドーロに出演予定。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

コジ・ファン・トゥッテ

Wolfgang Amadeus MOZART / Così fan tutte
全2幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2020年3月18日(水)18:30／20日(金・祝)14:00／22日(日)14:00／24日(火)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2019年11月10日(日)

指揮	パオロ・オルミ	フィオルディリージ	エレオノーラ・ブラット
Conductor	Paolo OLMI	Fiordiligi	Eleonora BURATTO
演出	ダミアーノ・ミキエレット	ドラベッラ	アンナ・ゴリャチョーフ
Production	Damiano MICHIELETTI	Dorabella	Anna GORYACHOVA
美術・衣裳	パオロ・ファンティン	デスピーナ	高橋薫子
Set and Costume Design	Paolo FANTIN	Despina	TAKAHASHI Nobuko
照明	アレッサンドロ・カルレッティ	フェルランド	ジョヴァンニ・サラ
Lighting Design	Alessandro CARLETTI	Ferrando	Giovanni SALA
再演演出	三浦安浩	グリエルモ	レナート・ドルチーニ
Revival Director	MIURA Yasuhiro	Guglielmo	Renato DOLCINI
舞台監督	村田健輔	ドン・アルフォンソ	シモーネ・アルベルギーニ
Stage Manager	MURATA Kensuke	Don Alfonso	Simone ALBERGHINI

合唱指揮	富平恭平
Chorus Master	TOMIHIRA Kyohei
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/cosi/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,620円: 公演当日朝 10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。

本公演は、レパトリー演目です。宣材として過去の上演の舞台写真をご使用いただけます。



【1】



【2】



【3】



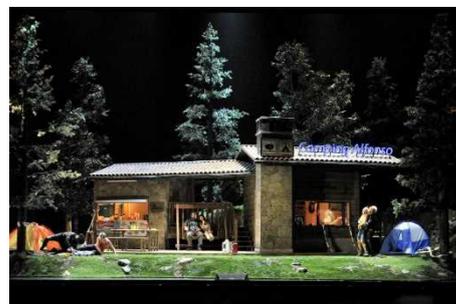
【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】